2月18日（土）に「～環境保全のための農的社会、農的社会のための環境保全を考える～農的ライフスタイルデザイン勉強会」を千町保育所跡地で行います。

この勉強会は、里山里海の環境保全のための啓蒙活動の一環として、地球環境基金の助成金を受けて実施するものです。里山里海の環境保全のためには、農業の活性化はもちろんのこと、暮らしの中に農的な要素を加えていくことが重要ではないか、また、そのことが地域の魅力アップや活性化にもつながるのではないかという問題意識と仮説から行っています。

また、私たちは「農業ができて当たり前」という考えを持ちがちですが、その環境が脅かされつつあるということには気づいていません。
獣害被害を入り口にして、私たちをはじめ、特に都市生活者が当然のこととして前提にしている「田舎で農業ができて当たり前」という状況が、実はいすみでも脅かされてはじめている、という部分にまで踏み込んで、考えていきたいと考えています。

農的社会、耕作放棄地、新規就農、農の流通、獣害被害などに興味のある方は、ぜひご参加ください。

～環境保全のための農的社会、農的社会のための環境保全を考える～

農的ライフスタイルデザイン勉強会

講師：蔦谷栄一氏（農的社会デザイン研究所代表）、仲谷淳氏（中央農業総合研究センター）

日時：2017年2月18日（土）13:30～17:00

場所：千町保育所跡地（いすみ市松丸2858）

参加料：無料

プログラム：

13:30：開始、プロジェクト全体の主旨活動報告
13:45：蔦谷先生からのレポートと質疑応答
下記4つの課題について取り組み事例（資料配布）を紹介しながら、横断的に話を進める。
- 耕作放棄地
- 新規就農
- 農家の流通体制づくり、都市部との接点づくり
- 獣害被害

15:35～15:45：休憩
15:45：仲谷先生からのレポートと質疑応答
16:30：蔦谷先生＋仲谷先生＋参加者で座談会（意見交換・雑談会）
17:00：終了

※この勉強会は平成28年度地球環境基金助成金の助成を受けて実施します。
活動名：いすみ地域における森里川海の一体型環境保全活動による里海の維持

主催：NPO法人いすみライフスタイル研究所
協力：夷隅ふるさと会

※このチラシは平成28年度地球環境基金助成金の助成を受けて作成しました。

地球環境基金